

令和4年度
(第30期)

事業報告書

自 令和4年4月1日
至 令和5年3月31日



公益財団法人 とちち財団

令和4年度事業報告書 目次

1 概況	-----	1
2 ものづくり支援事業【公益目的事業1】		
（1）試験研究	-----	2
（2）技術支援		
①技術指導・企業相談	-----	7
②検査分析	-----	9
③技術講習・研修	-----	10
④外部資金を活用した技術支援	-----	12
（3）成果普及・地域PR		
①十勝ブランドの推進	-----	13
②情報発信・PR （展示会出展、技術支援成果普及等）	-----	15
（4）施設の管理運営		
①北海道立十勝圏地域食品加工技術センター	-----	20
②十勝産業振興センター	-----	21
3 事業創発支援事業【公益目的事業2】		
（1）事業化の加速支援		
①競争型支援による連携イベント等	-----	22
②LANDSCAPE（事業者情報発信）	-----	34
③事業相談対応	-----	35
（2）補助金・奨学金の給付		
①とかちビジネスチャレンジ補助金	-----	35
②LAND奨学金（学生起業家育成奨学金）	-----	37
③令和3年度補助金・助成金報告会&交流会	-----	38
（3）施設の管理運営		
十勝事業創発支援センター「LAND」	-----	39

4	収益事業	-----	4 1
5	主要事業に関連する事項		
	(1) 視察・研修依頼への対応	-----	4 1
	(2) 関係機関等が主催する会議等への参画・協力等	-----	4 1
6	管理運営事項		
	(1) 理事会	-----	4 3
	(2) 評議員会	-----	4 4
	(3) 行政特別委員会	-----	4 5
	(4) 資産運用委員会	-----	4 5

1 概況

十勝地域においては、産学官金の緊密な連携により、基幹産業である農林漁業を核とする地方創生の推進に向けた積極的な取組みが進められている。このような背景の下、地域の産業活性化への貢献を目標に掲げている当財団には、十勝の未来につなぐ「価値」の創出と向上を図るため、新たに令和4年度からの5ヶ年で実施している「第3期産業活性化ビジョン」の取組みを着実に進め、その成果を一層広げていくことが求められている。

第3期ビジョンでは、地域事業者の自律的な成長と事業展開を丁寧かつ緻密に支援することを実現戦略に掲げた上で、以下の3つの重点事項に基づき事業展開・組織運営を実施することとしている。

- ①ものづくり産業の競争力・生産性の向上（公1：ものづくり支援事業）
- ②事業創発の持続性の確立（公2：事業創発支援事業）
- ③組織運営の最適化

ビジョン初年度にあたる令和4年度は、2つの公益目的事業を軸に、当財団が現在保有するリソース（拠点3施設、産業支援の経験・ノウハウ、人的ネットワーク等）を十分に活用しながら、効果的・効率的な事業展開・組織運営を図った。

ものづくり支援事業では、食品技術分野の試験研究として、十勝産エゾ鹿肉の加工品質に関する研究等に取り組み、新商品開発や地域資源の有効活用等を支援した。また、情報技術分野の試験研究として、ISOBUS対応ECU及び作業機の開発等に取り組み、生産現場の課題解決に資する装置・機械開発を支援した。あわせて、両分野の技術支援として、技術指導・企業相談対応、検査分析・機器利用依頼の受入れ、技術講習・研修の開催等に取り組んだ。さらに、成果普及・地域PRの取り組みとして、十勝ブランド推進の一環として登録制度を運営するほか、インターネットの活用や展示会への出展等により、試験研究等の成果や地域発の技術・商品に関する情報を積極的に発信・PRした。

事業創発支援事業では、事業化の加速支援（トカチコネクション）の一環として、共創型支援（外部機関等との連携強化）によるビジネスコミュニティの形成促進に取り組み、多彩な創業・起業・事業創発の機会を創出することで、事業創発の持続性の確立を図った。また、前年度まで実施していた3つの事業者向け補助金・助成金事業を統合した「とかちビジネスチャレンジ補助金」では、地域事業者が実施する新たなチャレンジに対し、事業費の一部を補助した。あわせて、若年層のビジネス人材育成の一環として、十勝地域で起業等に将来取り組むためのビジネススキル習得を希望する学生に対し「LAND奨学金」を給付した。

組織運営の最適化に関しては、理事会体制整備の一環として、令和4年7月より常勤の理事長を配置した。また、事務局組織体制の改編により新設した戦略調整室が中心となり、労働環境に関する社会的変化に対応し、かつ優秀な人材の安定的な確保・定着を図る観点から、従来の契約職員雇用制度の見直し（給与体系の見直し・職員区分転換制度の整備等）を図った。

以上の取組みを通じ、十勝の持続的な経済成長に寄与するプラットフォームとして、地域の産業活性化に持続的に貢献した。

2 ものづくり支援事業 【公益目的事業1】

(1) 試験研究

食品技術分野及び情報技術分野の技術的課題の解決や新製品開発等を促進するため、地域連携を図り、必要に応じて外部資金事業を活用する形で、地域ニーズに対応したテーマに関する実用的な研究開発を実施した。また、その成果を地域へ積極的に発信することで、成果の浸透・定着及び利活用促進を図り、企業等による新事業創出等を推進した。

これにより、地域のものづくり技術力を強化し、質の高い価値創出・向上の促進を図った。

<食品技術分野>

表1 (共同研究等のテーマ一覧)

テーマ	
1	十勝産エゾ鹿肉の加工品質に関する研究 ・目的：地域資源であるエゾシカの有効活用、ブランド化 ・連携者：十勝地域の鹿肉加工事業者 ・内容：エゾシカの捕獲時の悪条件により肉の温度が上昇すると品質劣化につながる不快臭が発生することがわかり、品質の評価指標に香気成分が有効であることを確認した。また、急速冷凍および包装の適正化が品質保持に有効であった。本研究で得られたデータを基に、エゾシカ肉の品質管理や加工品開発への活用を検討し、より安定した品質のエゾシカ肉の流通に繋げる。  鹿肉デミグラスソース煮
2	大豆粉末を利用した加工品開発 ・目的：十勝産大豆の用途拡大 ・連携者：本別町農産物ものづくり館 ・内容：「豆のまち」として知られる本別町の大豆を用いて、加工食品に利便性がある素材とするために微粉末化を検討し、健康イメージの良い大豆を主原料とする食品の開発を検討した。气流衝撃式微粒粉碎機を用いて目標の粒度となる条件設定を行い、得られた粉末を用いて大豆を主原料とした餃子の皮の配合、ハンドリングの改良を重ね、製法を確立した。今後、活用に向けて情報発信を行う。
3	色調が優れた小豆餡の製造技術 ・目的：十勝産小豆の差別化、ブランド化 ・内容：小豆に含まれる紫色色素を活かした餡の製法を基に、色調が優れた小豆餡製造の実用化に向けた課題を抽出・検討した。小豆の浸漬条件の検討と製餡時の色素成分の移行を調査し、製法改良に新たな知見を得た。また、餡の保存条件と色の保持を検討し、加糖餡の状態で色持ちが良いことを確認した。粒餡でプラントテストを実施した結果をふまえて、こし餡についても再現性を確認し、今後、技術普及を行う。
4	スペルト小麦の高付加価値加工利用方法の開発 ・目的：十勝産小麦のPR、消費拡大 ・内容：スペルト小麦は古代小麦とも呼ばれ、近代の小麦と比較して不良環境に強い栽培特性があり、差別化された風味が注目されているが、加工利用方法に関する報告例は少ない。本研究では焼き菓子に用いた場合の小麦特有の香ばしさをフレーバー分析により解析し、知見を得た。また、スペルト小麦にカリウムが多く含まれることを利用し、呈味性がほぼ変わらない減塩カレーパウダーの開発を検討し、減塩率30%の試作品を完成した。今後、活用に向けて情報発信を行う。

表2 (活用した助成金の一覧)

助成事業者	事業名・テーマ名
公益財団法人 全国競馬・畜産振興会	畜産振興事業助成金 「国産チーズ・イノベーション事業」(令和3～5年度) (日本獣医生命科学大学[中核機関]及び当財団を 共同実施主体とするコンソーシアムにより実施) ・内容: 地場産乳酸菌スターターの開発とチーズの試作実証による 効果の確認 

表3 (受託事業の内容一覧)

委託者	事業・業務名および内容
国立大学法人 東海国立大学機構 (名古屋大学)	小豆紫色色素の定量法確立による、 品種格差と餡色発色の機構解明を目指す開発試験 ・内容: 小豆紫色の色調が活かされるような製餡条件の検討 等 

< 情報技術分野 >

表 4（共同研究等のテーマおよび活用した外部資金の一覧）

資金配分機関	事業名・テーマ名
北海道	地域企業の先端技術人材確保・育成等支援事業（補助金） 「I S O B U S 対応 E C U と作業機の開発」（令和 4～6 年度） ・ 目的：農作業の機械化および効率化 ・ 協力機関：帯広畜産大学 ・ 内容：I S O B U S 対応 E C U と電動化・電子制御化システムを市販の機械式ポテトプランタに組み込んだ作業機（下の写真）の試作開発機に可変播種や可変施肥などの精密農業対応機能を実装するためのタスクコントロール機能を追加実装し、また十勝農協連が普及を推進する営農管理システム（TAF システム）とのデータ連携にも対応した作業機の試作開発を実施している。 
経済産業省	成長型中小企業等研究開発支援事業 「農業生産性向上に資する可変農作業制御デバイス及びデータ駆動型農業インターフェースの構築」（令和 4～6 年度） （株式会社農業情報設計社（中核機関）・当財団・ノーステック財団を共同実施主体とするコンソーシアムにより実施） ・ 目的：農業生産性向上 ・ 内容：農業情報設計社が開発するデバイスに対して I S O B U S 予備認証試験サービスを提供する準備として、I S O B U S 認証ツールの使い方及び I S O B U S 解析ツールの学習等を実施した。次年度以降は I S O B U S 認証ツールを契約し、本格的に予備認証試験サービスを提供する。
内閣府	デジタル田園都市国家構想推進交付金デジタル実装タイプ（T Y P E 3） 「ロボトラ連携真空播種機用異常検知システムの開発」 （更別村スーパービレッジ協議会（中核機関）、帯広畜産大学、JA さらべつ、当財団等が協働体として実施する畑作高度スマート化実証事業のうち、当財団の担当する課題） ・ 目的：市販の農業機械のロボトラ化対応による人手不足解消 ・ 内容：市販の真空播種機をロボットトラクター（ロボトラ）による無人作業に対応させるため、真空播種機に異常検知～自動停止させるための機能を実装する。令和 4 年度は異常検知システムの開発に必要な製品仕様の調査等を実施した。

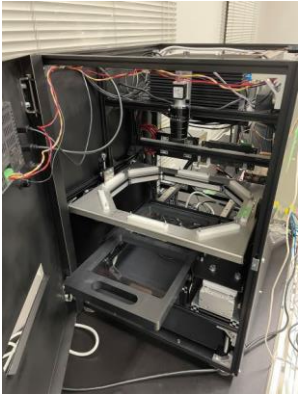
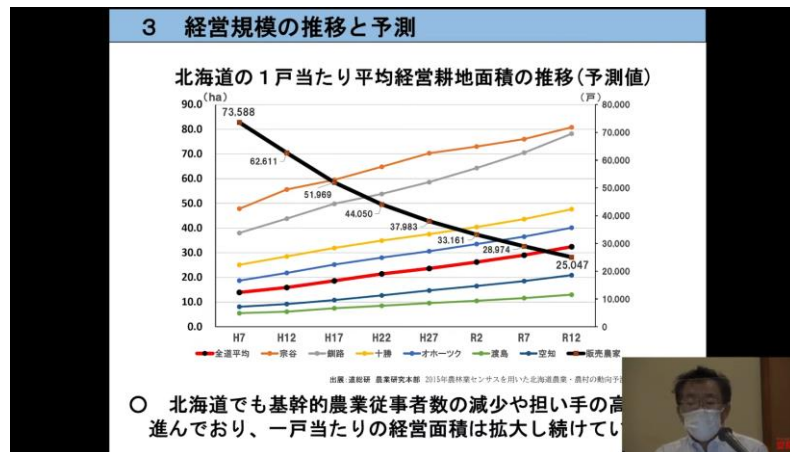
公益財団法人 日本豆類協会	豆類振興事業助成金 「豆類品質・品位評価判定の自動化技術開発」（令和 3～5 年度） ・ 目的：評価判定作業効率化 ・ 協力機関：JA 帯広かわにし ・ 内容：熟練検査員が有する知識や経験を最新の画像処理技術で実現し、品質・品位の評価を一定程度自動化するとともに、検査基準を定量化することで合理的な評価を行うことができる装置を開発した。  
--------------------------	--

表 5（I S O B U S 普及推進会の運営支援）

区分	内容						
目的等	十勝の主要産業の一翼を担う農業機械産業を中心に、I S O B U S に対応した農業機械の普及を促進するために設立された産学官連携体「I S O B U S 普及推進会」について、試験研究の一環として、当財団が事務局を担う形でその運営を支援している。						
設立年月日	平成 30 年 8 月 9 日						
事業年度	毎年 8 月 1 日から 7 月 31 日まで						
構成メンバー	役員（3 名） ・ 会長：金山 紀久（当財団理事長） ・ 最高顧問：野口 伸（北海道大学 農学研究院 副研究院長・教授） ・ 監事：山田 政功（十勝農業機械協議会 会長） 支援機関（6 機関） ・ 大学ならびに関係機関 アドバイザー（7 名） ・ 会長が支援機関等から指名した適任者 後援団体（7 機関） ・ 行政機関ならびに関連団体 会員（合計 39 名・事業所） ・ 十勝および道内に拠点を有する作業機メーカーなど 【会員の内訳】 <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>正会員</td><td style="text-align: right;">36</td></tr> <tr> <td>賛助会員（法人・団体）</td><td style="text-align: right;">2</td></tr> <tr> <td>賛助会員（個人）</td><td style="text-align: right;">1</td></tr> </table>	正会員	36	賛助会員（法人・団体）	2	賛助会員（個人）	1
正会員	36						
賛助会員（法人・団体）	2						
賛助会員（個人）	1						

令和4年度 スマート農業情報提供としての動画公開

- ・令和4年8月4日 【ISOBUS 普及推進会 定期総会 基調講演】
- ・令和4年8月9日 【環境モニタリング企業調査】
- ・令和4年8月23日 【Lighting System】植物育成用ライト
- ・令和4年9月8日 【Farm management】農場管理とは？
- ・令和4年9月29日 【Vertical Farming】屋内垂直農業について
- ・令和4年10月13日 【Industrial Appliances】屋内植物栽培システム本編
- ・令和4年11月2日 【Irrigation&Fertigation】スマート農業施肥灌漑



主な活動実績

令和4年8月4日 令和4年度総会



令和5年1月25日 富良野市スマート農業研究会

研修会「スマート農業と ISOBUS」への講師派遣（出席者：約30名）



(2) 技術支援

①技術指導・企業相談

企業等による技術的課題の解決や新製品開発等の促進を図るため、研究員が技術相談に対応するとともに、必要に応じて研究員を生産現場等に派遣し、直接的な指導及び助言を実施した。

これにより、地域ニーズ・企業ニーズを的確に把握し、研究開発・技術支援の効果的な展開を図るとともに、利用企業や関係機関等との連携を強化した。

表 6（技術相談件数）〔現地技術指導を含む〕

年度	相談件数	相談内訳	
		食品技術	情報技術
R4	872	621	251
R3	940	666	274
R2	1,062	739	323

表 7（市町村別相談件数）

帯広	音更	士幌	上士幌	鹿追	新得	清水	芽室	中札内	更別
284	25	11	13	9	45	25	126	16	22
大樹	広尾	幕別	池田	豊頃	本別	足寄	陸別	浦幌	十勝以外
20	11	37	17	1	26	7	8	4	166

表 8（市町村別相談事業者数）

帯広	音更	士幌	上士幌	鹿追	新得	清水	芽室	中札内	更別
100	12	5	6	3	5	11	24	6	6
大樹	広尾	幕別	池田	豊頃	本別	足寄	陸別	浦幌	十勝以外
5	4	11	4	1	7	5	2	2	91

表 9（ものづくりワンストップ相談会の開催実績）

開催日	相談対応職員	共催
R4. 3. 17 R4. 12. 21 R5. 3. 17	四宮 紀之	帯広信用金庫・帯広畜産大学・とかち財団

表 10（技術指導を行った地域活性化プロジェクト）

プロジェクトの内容
株式会社明治とフードバレーとかち推進協議会の包括連携協定に基づく 「十勝ヨーグルトプロジェクト」への技術支援（平成 30 年度～） 【目的】 十勝の乳の価値向上による産業振興・地域活性化 【内容】 株式会社明治が発見した十勝産生乳由来の新乳酸菌「十勝ミルク乳酸菌 TM96」を使用したヨーグルト製品の開発 【主な支援】 製品開発に向けたプロジェクト参画事業者への技術指導 【参画事業者】 十勝地域の乳製品製造企業等 6 社

表 11（講師・アドバイザー派遣実績）

<食品技術分野>

区分	派遣日等	事業・セミナー	派遣地	派遣職員
講師派遣	R4. 6. 1	北海道立農業大学校 畑作園芸経営学科講義 「農畜産加工起業概論」	本別町	水谷香子
講師派遣	R4. 6. 2	北海道立農業大学校 畜産経営学 「農畜産加工起業概論」	本別町	水谷香子

<情報技術分野>

区分	派遣日等	事業・セミナー	派遣地	派遣職員
講師派遣 (動画提供)	R4. 10. 27	国立大学法人北海道大学 令和 4 年度スマート農業推進委託事業 スマート農業オンライン講座 第 1 章：基礎編「ISOBUS」	-	田村知久
講師派遣	R4. 11. 14	JICA 2022 年度農業・農村 DX／スマートフードチェーン共創に向けた産学官人材育成(B)コース 「十勝地域における ISOBUS 普及の取り組み」	帯広市	葛西大介 松原慎吾
講師派遣	R5. 1. 25	富良野市スマート農業研究会 研修会「スマート農業と ISOBUS」 (本研修動画は YouTube にて配信中)	富良野市	松原慎吾

②検査分析

企業等の生産・製造活動の側面的支援を図るため、企業等からの依頼により、原材料・試作品・製品の品質評価等に係る試験・検査及び分析、成績書の発行を実施した。

これにより、企業等の課題解決に向けた取組みを促進し、ものづくり技術力の強化を図った。

<食品技術分野>（食品の成分分析や理化学測定、微生物検査）

表 12（検査分析件数）

年度	検査分析件数	内訳		
		依頼試験	依頼分析	謄本発行
R4	30	7	23	0
R3	31	10	19	2
R2	65	27	37	1

※主な依頼試験項目：一般生菌数、大腸菌群、耐熱性菌数、真菌数

※主な依頼分析項目：灰分、水分、タンパク質、脂質、無機質、食物繊維、糖類 等

<情報技術分野>（鉄筋やコンクリートの強度試験、パークゴルフ用具等の検定試験）

表 13（検査分析件数）

年度	検査分析件数	内訳		
		引張強度試験	圧縮試験	パークゴルフ用具等
R4	368	124	84	160
R3	236	120	31	85
R2	340	131	0	209

③技術講習・研修

ものづくりに関する技術者の育成を図るため、基礎・応用技術や商品開発等の知識習得を目的とした、専門的かつ実践的な技術者養成セミナー・講習会・研究会を実施するとともに、研究員による直接的な指導により技術習得を促進するため、企業等の技術者を研修生として受け入れた。

これにより、十勝の産業を支える技術者の実践的な人材育成を図った。

<食品技術分野>

[1] 微生物検査に関する実技講習会

地域食品産業の技術力向上・人材育成を支援するため、食品の品質・衛生管理に必要な微生物検査技術の習得を目的とした、少数限定の実技講習会を開催した。(会場：食品加工技術センター)

なお、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、通常より定員数を減らし(8名→4名)、初級編は同一内容で2回開催した。

表 14 (講習会開催実績)

開催日	テーマ・実施内容等	受講者数
R4. 6. 7 R4. 6. 9	「実践、微生物検査の基礎」(初級編：一般生菌数、大腸菌群)[A日程] 講師：ものづくり支援部 食品技術グループ 研究主査 水谷 香子	4
R4. 6. 8 R4. 6. 10	「実践、微生物検査の基礎」(初級編：一般生菌数、大腸菌群)[B日程] 講師：同上	3
R4. 6. 14 R4. 6. 16	「実践、微生物検査の基礎」(中級編：黄色ブドウ球菌、サルモネラ) 講師：同上	4

[2] 十勝圏ナチュラルチーズ品質管理研究会

十勝地域のナチュラルチーズ業界における品質管理体制の強化を図るため、チーズ製造及び品質管理に関する知識の習得をはじめ、情報等の共有や意見交換を目的とする研究会を開催した。(会場：食品加工技術センター)

表 15 (研究会開催実績)

開催日・期間	テーマ・実施内容等	出席者数
R4. 8. 22 ～9. 30	「HACCP に沿った衛生管理の制度化」における機器の精度確認 及び衛生度の確認 (会員工房への訪問、または食品加工技術センターでの個別対応)	13
R5. 2. 16	「食品製造現場におけるカビ汚染とその対策」 講師：イカリ消毒(株) 帯広営業所 所長 河原 平 氏	12

〔３〕官能評価に関する実技講習会

地域食品産業の技術力向上・人材育成を支援するため、食品を取り扱うにあたって重要な指標となる官能評価の基礎的手法の習得を目的とした実技講習会を開催した。(会場：食品加工技術センター)

また、今年度からは従来の基礎編に加え、総合的な官能評価スキルの向上を目的に、様々な味質を味わう体験や評価試験設計の訓練を取り入れたワンランク上の実践編も開催した。

表 16（講習会開催実績）

開催日	テーマ・実施内容等	受講者数
R4. 11. 8	「官能評価講習会 基礎編」[A 日程] 講師：ものづくり支援部 食品技術グループ 研究員 高谷 政宏	8
R4. 11. 14	「官能評価講習会 基礎編」[B 日程] 講師：同上	7
R4. 11. 16	「官能評価講習会 実践編」[A 日程] 講師：同上	8
R4. 11. 22	「官能評価講習会 実践編」[B 日程] 講師：同上	6

〔４〕技術研修生の受け入れ

地域食品産業の技術力向上・人材育成を支援するため、企業等からの技術研修生の受け入れ等に取り組み、食品加工技術者の技術習得を促進した。

表 17（研修生受け入れ実績）

受入期間	研修内容	受入人数
R4. 7. 20、22	微生物検査技術の習得（一般生菌数、大腸菌群等）	2
R4. 8. 17、19	微生物検査技術の習得（一般生菌数、大腸菌群等）	5

<情報技術分野>

[1] オンデマンド型技術セミナー

地域のものづくり産業の技術力向上・人材育成を支援するため、企業ニーズに特化した内容で開催するオンデマンド型の実技講習会を開催した。(会場：十勝産業振興センター)

表 18 (セミナー開催実績)

開催期間	テーマ等	受講者数
R4. 12. 15～ R5. 2. 21 (全 12 回)	3 次元 C A D 講習会 導入編 ～SolidWorks2010 を使ってみよう～ 講師：総務管理部 総務管理グループ 副主幹 西條 大輔	3
R5. 3. 8～ R5. 3. 9 (全 2 回)	2 次元 CAD 講習会 (JW-CAD の操作を中心とした初級者向け実技講習) 講師：総務管理部 総務管理グループ 副主幹 西條 大輔	3

④外部資金を活用した技術支援

北海道の「地域企業の先端技術人材確保・育成等支援事業」補助金を活用し、製造業へのデジタル技術の導入・応用を図るための農作業機の実装等のデモンストレーション・技術支援により、地域企業の生産性向上に取り組んだ。

表 19 (活用した補助事業)

補助元	事業名
北海道	「地域企業の先端技術人材確保・育成等支援事業」 内容：①デジタル技術の導入・活用デモンストレーション ②スマート農業技術普及に資する情報提供 期間：令和 4～6 年度

(3) 成果普及・地域PR

試験研究・技術支援の成果、及びその利活用等により実用化された地域発の商品・技術等について、インターネットの活用や展示会への出展等により、その情報を積極的に発信・PRした。

これにより、事業成果等を効果的・広域的にPRし、成果の利活用を促進するとともに、財団事業に対する認知度・理解度の向上を図った。

①十勝ブランドの推進

特徴ある十勝産加工食品の品質・付加価値を客観的に評価し、その認知度を高めることにより、地域の個性や魅力を象徴する「十勝ブランド」を守り育て、地域産業の活性化に繋げるため、「十勝ブランド登録制度」を実施した。

これにより、さらに質の高い「価値」となり得る十勝ブランドの推進を図るとともに、登録品の効果的なPRや事業者間の連携を促進した。

表 20 (十勝ブランド登録制度の概要)

区分	内容
対象	十勝産加工食品
登録基準	(1) 十勝産原料を 51%以上使用した食品であること (2) 次のいずれかを満たしていること Ⅰ. 十勝地域で製造されている Ⅱ. 十勝の事業者が製造主体である (3) 適正な営業・製造許可を受け、法令を遵守していること
付加価値基準	商品の魅力や付加価値を『バリュー』として認定し、それを★の数で表示 (1個～最大5個) (1) 登録基準 (★1個) Ⅰ. 登録基準をクリア =★1個 (2) コアバリュー (最大★2個) Ⅰ. 十勝産原料比率が 80%以上の商品 (産地証明の提出が必要) =★1個 Ⅱ. 唯一無二である または、十勝ならではの価値や特徴がある =★1個 (3) プラスバリュー (最大★2個) コアバリュー以外の魅力・付加価値がある (最大★2個) 【例】 受賞経験、第三者認証、オーガニック原料、トクホ など
登録方法	登録を希望する事業者が任意で申請し、審査委員会による審査を経て登録
審査	有識者による「十勝ブランド登録審査委員会」が基準に基づいて審査し、全員一致で認められたバリューだけが認定される
登録料	無料 (ただし、任意参加のPR事業は参加負担金あり)
登録期間	無期限 (ただし、定期的内容確認あり)
登録マーク	 

表 21 (十勝ブランド登録状況)

[令和 5 年 3 月末日現在]

事業者数	登録品数	主な種類
51 (前年度 49)	185 (前年度 180)	チーズ、乳製品、パン、お菓子、農産加工品、畜産加工品、 飲料・酒類、調味料

表 22 (十勝ブランド 主な活動状況)

開催日・期間	内容
R4. 8. 5	十勝ブランド登録審査委員会の開催 (第 1 回)
R4. 7. 8～	十勝ブランドパンフレットの作成・配布
R4. 7. 16 ～R4. 10. 10	十勝ブランドスタンプラリーの開催 (36 店舗) 【応募総数】486 件 (うち全店制覇: 181 件) 
R4. 9. 3 ～R4. 9. 4	「とかちマルシェ」への参加 (11 店舗)  
R4. 10. 27	北海道職員に対するチーズ斡旋販売 (8 社)
R4. 11. 28 ～R5. 2. 28	「十勝ブランドお年玉キャンペーン 2023」企画の実施 ・応募者 245 名に 2,500 円分の商品券を提供 
R5. 3. 23	十勝ブランド登録審査委員会の開催 (第 2 回・オンライン)

表 23 (ホームページの公開・運営状況)

区分	公開内容
十勝ブランド登録制度 ホームページ	 https://www.tokachi-brand.jp

②情報発信・PR

[1] 展示会・商談会等への出展

試験研究・技術支援成果の利活用等により実用化された地域発の商品・技術等をPRし、その販路拡大を支援するため、首都圏等で開催される展示会・商談会等に出展した。

表 24 (FOOMA JAPAN 2022 (国際食品工業展) への出展)

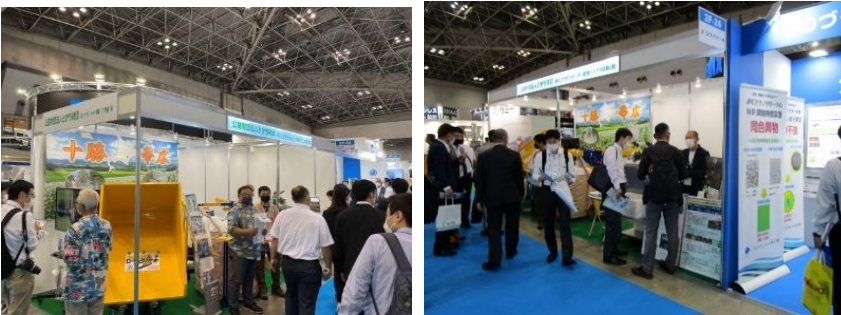
開催日	開催内容
R4. 6. 7 ～R4. 6. 10	「FOOMA JAPAN 2022 (国際食品工業展)」 会場：東京ビッグサイト 内容：新型コロナウイルス感染拡大の影響で、十勝からは3年ぶりの出展となった。出展者数、来場者数とも海外からの入国制限がある中、コロナ以前に遜色ないほどに回復し、活況の中で多くの商談機会があり、期待以上の成果を得ることができた。また、当財団のものづくり分野の開発支援の取組みについても、多くの来場者に向けてPRすることができた。 共同出展者：株式会社フクザワ・オーダー農機（芽室町） ノブタ農機株式会社（帯広市） 全出展社数：874社 来場者数：92,717人（4日間、うち海外395人） 

表 25 (FOODEX JAPAN 2023 (国際食品・飲料展) への出展)

開催日	開催内容
R5. 3. 7 ～R5. 3. 10	「FOODEX JAPAN 2023 (国際食品・飲料店)」 会場：東京ビッグサイト 内容：新型コロナウイルス感染拡大の影響により、十勝としては4年ぶりの出展となった。出展企業数はコロナ禍以前と変わらず、新規参加もあるなど首都圏での大規模展示会への意欲・期待は大きく、来場者数もコロナ禍以前程度に回復したため、各社とも多くの商談機会を得て今後の販路拡大への端緒とすることができた。商談の継続による今後の成約が期待される。 十勝からの出展企業数：19社 ※うち2社はトライアル出展 (2日間出展) 全出展社数：2,562社 (国内976社、海外60カ国・1,586社) 来場者数：73,789人 (4日間)  

[2] 試験研究・技術支援成果の普及・情報発信

ものづくりに関する有用な技術情報を発信するとともに、成果発表会や技術研究会の開催等により、試験研究・技術支援成果の普及に努めた。

これにより、事業成果等を広範囲に拡大させ、より一層の利活用を促進することで、財団事業への認知度・理解度の向上を図った。

<食品技術分野>

表 26 (成果発表会の開催実績)

開催日	開催方法	開催内容	聴講者数
R4. 10. 14	オンラインによる配信	「食加技 PRESENTATION DAY」 【食品技術分野のものづくり支援・地域連携支援の広域的発信及びその成果普及のための成果発表会】 <取り組み紹介> ① 食品加工技術センター活用のご案内 ② 山幸酵母による発酵食品の開発 ③ おからを利用した味噌製造法の確立 ④ 十勝産エゾシカ肉における加工品質に関する研究(2) ⑤ 小規模チーズ工房への技術支援の紹介	56

表 27（十勝圏地域食品加工技術者の会 開催実績）

開催日	開催内容	開催地	参加者数
R4. 12. 2	第 84 回会合 「大豆粉末を用いた試作品について」	食品加工技術センター	4
R5. 2. 1・7・8	第 85 回会合 「役員会」（持ち回り開催）	幕別町 本別町 鹿追町	4

表 28（ホームページの公開・運営状況）

区分	公開内容
食品加工 技術センター 専用ホームページ R3. 9 月開設	 https://www.food-tokachi.com

< 情報技術分野 >

表 29（当財団共催事業「スクラム十勝シンポジウム」での発表・PR 実績）

開催日	開催方法	事業・会議等の名称及びPR 内容	発表者等
R4. 10. 20	とかちプラザ (ハイブリッド方式)	スクラム十勝シンポジウム 2022 ～研究成果が拓く地域産業の未来～ ・発表テーマ「農産物検査に学ぶ DX 化の手法について」	菅原 崇

表 30 (関係機関等主催事業等での発表・PR実績)

開催日	事業・会議等の名称及びPR内容	開催地	発表方法	発表者
R4. 10. 14	2022 年度 第 1 回 スマート農業セミナー ・主催：一般社団法人 北海道産学官研究フォーラム ・当財団の講演テーマ 「ISOBUS 普及推進会の目指すもの ～国産作業機の ISOBUS 対応～」	帯広市	会場出席 [とかちプラザ]	田村知久
R5. 1. 25 [表 11 の 再掲]	富良野市スマート農業研究会 研修会「スマート農業と ISOBUS」 (本研修動画は YouTube にて配信中)	富良野市	会場出席 [富良野市総合庁舎]	松原慎吾

表 31 (ホームページ・YouTube の公開・運営状況)

区分	公開内容	閲覧数
成果品 PR のための 技術開発・製品開発 内容詳解サイト	 https://www.tokachi-foundation.com	合計 1,601 回
情報技術グループ YouTube チャンネル 「とかテク ch.」	 https://www.youtube.com/@TokaTechCh	合計 14,000 回

< 共通 >

表 32 (ホームページの公開・運営状況)

区分	公開内容
とちかち財団 ホームページ	 https://www.tokachi-zaidan.jp/index.php 食品加工技術センター・十勝産業振興センターの施設概要紹介 業務内容、研究成果、設備機器一覧、各種書式のダウンロード等

[3] 地域連携の促進支援

地域産業の高度化・複合化に欠かせない地域連携・人的ネットワーク構築の促進を図るため、事業の共催等により交流機会の創出に取り組み、また関係機関等の主催する会議等へ積極的に参画・協力した。

表 33 (事業共催・会議参加実績)

開催日	開催場所・方式	開催内容等	参加人数
R4. 6. 30	帯広畜産大学 (ハイブリッド方式)	帯広畜産大学「産学官金連携交流会 mini」の共催 ・牛肉編～十勝ならではの牛肉生産に向けて (講演セッション：2テーマ、交流セッション)	65 名
R4. 8. 1	帯広畜産大学 (ハイブリッド方式)	帯広畜産大学「産学官金連携交流会 mini」の共催 ・エネルギー編～ゼロカーボンに資する農業地域の熱 エネルギー利用可能性 (講演セッション：3テーマ、交流セッション)	51 名
R4. 9. 12	帯広畜産大学 (ハイブリッド方式)	帯広畜産大学「産学官金連携交流会」の共催 ・デジタル情報技術と農畜産業 (講演セッション：5テーマ、情報交換会)	211 名
R4. 10. 20	とちかちプラザ (ハイブリッド方式)	スクラム十勝シンポジウム 2022 「研究成果が拓く地域産業の未来」の共催 【当番事務局として企画・運営に対応】 ・共催機関による研究成果発表：6テーマ (共催：帯広畜産大学、北農研センター芽室研究拠点、 道総研十勝農業試験場、同畜産試験場、 家畜改良センター十勝牧場、当財団)	119 名

R5. 1. 23	十勝総合振興局	十勝の食品・農林水産物輸出拡大ステップアップセミナーへの参加	財団より 2名参加
R5. 1. 24	オンライン	北海道開発計画調査等説明会への参加	財団より 2名参加
R5. 2. 21	オンライン	INPIT 北海道知財総合支援窓口サテライト ^(※) 合同会議への参加	財団より 1名参加



産学官金連携交流会 mini 牛肉編



スクラム十勝シンポジウム 2022

※知的財産に関する相談について

一般社団法人北海道発明協会（札幌市）が運営する「INPIT 北海道知財総合支援窓口」の帯広サテライトが十勝産業振興センターに設置されており、テレビ会議システムを通じて同協会の担当者に直接相談することができる。

（４）施設の管理運営

ものづくりに関する試験研究・技術支援を効果的に実施するため、技術支援施設（北海道立十勝圏地域食品加工技術センター、十勝産業振興センター）の保守管理、設備・機器の利用提供等を実施した。

これにより、施設の基本機能を十分に発揮し、利用者サービスの向上を図った。

①北海道立十勝圏地域食品加工技術センター（指定管理業務）

表 34（施設利用件数）

年度	利用件数	内訳	
		機器等	研修室
R4	160	159	1
R3	191	188	3
R2	249	248	1

表 35 (施設利用時間)

年度	利用時間	内訳	
		機器等	研修室
R4	358	355	3
R3	458	449	9
R2	877	873	4

②十勝産業振興センター（財団所有施設）

表 36 (設備機器利用件数等)

年度	利用件数	利用時間
R4	57	156
R3	66	160
R2	77	3, 279

表 37 (十勝地域機械製品開発ツール普及促進事業)

年度	利用件数	備考
R4	9	委託者：帯広市 内容：3Dプリンタ・CAEツール等の 利活用促進・保守管理等
R3	4	
R2	11	

表 38 (会議室利用件数)

年度	利用件数	内訳	
		大会議室	中会議室
R4	320	192	128
R3	288	154	134
R2	225	129	96

表 39 (会議室利用人数)

年度	利用人数	内訳	
		大会議室	中会議室
R4	9, 753	7, 196	2, 557
R3	8, 807	6, 279	2, 528
R2	6, 554	4, 772	1, 782

3 事業創発支援事業 【公益目的事業2】

(1) 事業化の加速支援

十勝地域における創業・起業・事業創発を加速するため、事業者からの相談対応、外部機関との連携によるビジネスコミュニティの形成促進活動、インターネットを活用した成果普及・情報発信等を実施するプログラム「トカチコネクション」を運営した。

これにより、多彩な創業・起業・事業創発の機会を創出し、事業創発の持続性を確立するとともに、事業化の加速を図った。

①共創型支援による連携イベント等

【地域活性化ビジネス相談所「0-KISOU」】

十勝の起業家等に対するファイナンス機能を有する「合同会社コントレイル」等との協業により、起業・創業等に必要となる専門的なアドバイスを行う地域活性化ビジネス相談所「0-KISOU」を開催した。

表 40（相談会開催実績）

区分	内容
構成	主催：公益財団法人とかち財団 協力：合同会社コントレイル、帯広市経済部
対象者	十勝地域で起業・創業を目指す者、新たな事業展開を目指す事業者
開催日	毎月第2火曜日（月1回の定期開催）
場所	LAND
参加可能枠	4枠／月（相談時間：1枠あたり最大1時間30分）
活動実績	①令和4年度の対応件数：10件（9社） ・参考：令和3年度 31件（24社） ②令和3年度の開設から現在までの法人設立・開業実績：7社 ＜前年度＞ ・株式会社Pono Wolves ・合同会社Swing by ＜今年度＞ ・株式会社スマヒロ ・株式会社十勝eスポーツ教育センター ・株式会社elf ・十勝Fruitsvillage ・一般社団法人ママのHOTステーション 

【北海道経済産業局連携 アウトドアマッチングイベントの実施】

十勝発のアウトドア・アドベンチャートラベル（AT）関連ビジネスの創出を図るため、北海道経済産業局と連携し、十勝地域内外の様々な業種の事業者による意見交換・マッチングイベントを実施した。

表 41（アウトドア X イノベーション in 十勝開催実績）

区分	内容
事業名	アウトドア X（クロス）イノベーション in 十勝
構成	主催：経済産業省北海道経済産業局 共催：公益財団法人とかち財団 協力：北海道十勝総合振興局、十勝 19 市町村
対象者	十勝地域でのアウトドアによる新たな価値創造に意欲のある道内企業
開催日時	令和 4 年 5 月 26 日 13:30～17:30
場所	北海道ホテル（帯広市）
活動実績	参加企業・団体数：24（域内企業 14、域外企業 10） 参加業種：観光業、不動産業、通信業、食品製業など 参加者数：62 名（オブザーバー、事務局含む） 事後アンケートでは参加企業のうち 5 社が「実際の連携事業が実現した」、6 社が「連携事業実現に向け進行中」と回答するなど、一定の効果が見られた。 

表 42（アウトドア AT X イノベーション in 十勝開催実績）

区分	内容
事業名	アウトドア AT X（クロス）イノベーション in 十勝
構成	主催：経済産業省北海道経済産業局 共催：公益財団法人とかち財団 協力：北海道十勝総合振興局、十勝 19 市町村

対象者	十勝地域でのアウトドアによる新たな価値創造に意欲のある道内企業
開催日時	令和5年1月31日 13:00～18:30
場所	北海道ホテル（帯広市）
活動実績	参加企業・団体数：39社（管内企業24、道内企業10、道外企業5） 参加業種：観光業、不動産業、通信業、映像制作業など 参加者数：86名（オブザーバー、事務局含む） イベント前半では、帯広市で開催される ATWS2023 北海道ポストサミットアドベンチャーを見据え、AT に対する理解促進セミナーを実施した。 事後アンケートでは「具体的な商談に繋がりそうなマッチング」が41件報告されており、うち8件は実際に協業が進められているところ。新事業創発に一定の効果が見られた。 

【EzoFrogs 連携イベント「地域課題解決アイデアソン・EzoFrogs 説明会」】

13～25 歳程度の北海道在住学生を対象に、約半年間の研修を通じてアントレプレナーシップを身に付ける人材育成プログラムを実施する「一般社団法人 EzoFrogs」と連携し、地域課題解決アイデアソンを実施した。

表 43（地域課題解決アイデアソン・EzoFrogs 説明会開催実績）

区分	内容
構成	主催：一般社団法人 EzoFrogs 共催：公益財団法人とかち財団
対象者	地域課題解決に関心のある北海道の若年層
開催日時	令和4年5月28日 13:00～17:00
場所	LAND
活動実績	参加者数：5名（大学生3名、高校生2名） ゲスト登壇者：SPACE COTAN 株式会社 代表取締役社長兼 CEO 小田切 義憲 氏 内容：ゲスト登壇者の講話を聴講した後、「〇〇×テクノロジー」をテーマに、地域課題解決につながるアイデアソンを行った。

活動実績 (続き)	当アイデアソンに参加した札幌市在住の学生が、プログラムの中でビジネスプランを磨き上げ、現在十勝に移住して起業に向け準備中である。  
--------------	--

【北海道中小企業家同友会とかち支部連携イベント「押忍！ビジネスお悩み解決道場」】

起業準備中や起業・創業したての参加者と、北海道中小企業家同友会とかち支部の会員で十勝において活躍する経営者の先輩が、経営にまつわる知識・経験・ネットワークをシェアするイベントを実施した。

表 44 (押忍！ビジネスお悩み解決道場開催実績)

区分	内容
構成	主催：一般社団法人北海道中小企業家同友会とかち支部 公益財団法人とかち財団
対象者	起業準備中または起業・創業して間もない方
開催日時	第1回 令和4年7月15日 18:00～19:30 第2回 令和5年1月26日 18:00～19:30
場所	LAND
活動実績	■第1回 登壇者：有限会社中田食品 代表取締役社長 貴戸 武利 氏 株式会社つながり 代表取締役 北村 直也 氏 参加者数：13名（うち、起業創業者5名、先輩起業家8名） ■第2回 登壇者：有限会社十勝スロウフード 代表取締役社長 藤田 恵 氏 有限会社ホテルニュー帯広 代表取締役 小村 真樹子 氏 参加者数：12名（うち、起業創業者5名、先輩起業家7名）  

【Tokachi EGGs（トカチ エッグス）】

十勝の将来を担う若年層に対し、地域課題の解決を通じてビジネスの役割を理解してもらうとともに、起業への意欲を喚起することを目指し、高校生が企画運営する課題発見・解決プログラムを共催した。

参加した高校生が発表した4案の地域課題解決案のうち3案は、高校生と地域事業者との連携や大学生サークルとの連携により実現に結び付いた。

表 45（Tokachi EGGs 開催実績）

区分	内容
構成	主催：CAN-PASS（高校生ボランティア団体） 共催：公益財団法人とかち財団 協力：帯広市
対象者	十勝地域の高校生
開催日程	令和4年7月27日（水）～7月30日（土）
場所	LAND、その他フィールドワーク各所
参加者数	12名
活動実績	内容：①地域課題の選定及びその解決に向けたフィールドワーク（第1日～第3日：4班に分かれて実施） ②地域事業者による講話（第2日・第3日） ＜講師＞ 帯広ローターアクトクラブ 会長 東郷 哲史 氏 美容室 Blanc. 代表 佐藤 有香 氏 ③フィールドワーク結果（解決案）の発表会（第4日） 

【AgVenture Lab 連携イベント「慶応義塾大学神成ゼミ特別研究プロジェクト」】

当財団と連携協定を結んでいる一般社団法人 AgVenture Lab との連携事業として、慶応義塾大学神成ゼミ（環境情報学部 教授 神成 淳司 氏）の特別研究プロジェクトの受け入れを実施した。

表 46（AgVenture Lab 連携イベント開催実績）

区分	内容
構成	主催：慶応義塾大学神成ゼミ、一般社団法人 AgVenture Lab 共催：公益財団法人とかち財団
開催日程	令和4年8月29日（月）～31日（水）

場所	LAND、その他視察先各所
参加者	21 名（神成教授、学生 14 名、AgVenture Lab スタッフ等 6 名）
活動実績	内容：①地域事業者による講話（第 1 日・第 2 日） <講師> 一般社団法人 AgVenture Lab 代表理事 荻野 浩輝 氏 株式会社農業情報設計社 代表取締役 濱田 安之 氏 帯広畜産大学 学長 長澤 秀行 氏（※同大学を訪問） ②地域事業者の視察（第 1 日・第 2 日） <視察先> 佐藤牧場（本別町：搾乳ロボット等の視察） 株式会社 karch（上士幌町：バイオガスピラントの視察） 坂東農場（芽室町：大規模畑作農家の視察） ③講義・視察に基づくグループワーク （第 1 日・第 2 日：4 班に分かれて実施） ④グループワーク結果（十勝の農業・地域を良くするための提案） の発表会（第 3 日）  

【tokachi field action Lab 連携イベント「トカチダネ」】

十勝・帯広の地域資源に興味・関心を持つ首都圏等に在住する社会人・学生等と地元企業をマッチングするプラットフォーム「tokachi field action Lab」と連携し、全国 6 大学の農業関連サークル等に所属する学生を対象としたフィールドワークプログラムを実施した。

十勝の事業者・学生との交流や、農業・製造現場等のフィールドワークを通じ、地域課題・価値を探索し、その結果を「十勝アグリ&フードサミット」（表●参照）でグループ毎に発表した。

表 47（トカチダネ開催実績）

区分	内容
構成	主催：tokachi field action Lab 共催：公益財団法人とかち財団
参加者	大学生 計 26 名 ・北海道大学「ほくだい畑」 ・筑波大学「農業サークルのうりんむら」 ・東京大学「東大むら塾」 ・立命館大学「学生団体カノール」

参加者 (続き)	・東海大学「阿蘇援農コミュニティプロジェクト」 ・宮崎大学「地域資源創成学部・学生起業家」
開催日程	令和4年9月26日(月)～9月30日(金)
場所	LAND、その他フィールドワーク先各所
活動実績	内容：①フィールドワーク（地域事業者の見学：第2日・第3日） ・4班に分かれ、「農業×稼ぐ」「農業×技術」「農業×環境」「農業×つながり」のテーマに応じた各3社を見学した。 【見学先企業】（順不同） 前多農園、山本忠信商店、ノベルズ、前田農産食品、スペースアグリ、カルビーポテト、農業情報設計社、土谷特殊農機、アグリシステム、鈴木牧場、ビロロ企画、満寿屋商店、いただきますカンパニー ②フィールドワーク結果（テーマ毎の検討結果）の発表会 ・「十勝アグリ&フードサミット」（9月29日開催）の学生セッションに登壇し、十勝の魅力や課題・今後の提案等について発表した。  

【北海道宇宙サミット 2022】

昨年度に引き続き、十勝地域の関係機関・事業者とともに実行委員会を組成し、北海道における「宇宙版シリコンバレー創出」の機運を醸成するためのビジネスカンファレンスを開催した。

表 48（北海道宇宙サミット 2022 開催実績）

区分	内容
主催者	北海道宇宙サミット実行委員会 (構成員：大樹町、SPACE COTAN 株式会社、十勝毎日新聞社、当財団)
対象者	宇宙産業・新事業創出に関心の高い地域内外の事業者など
開催日	令和4年9月28日、29日
場所	ベルクラシック帯広（帯広市）
活動実績	第1日：大樹町 ・ロケット射場ツアー ・レセプション 第2日：帯広市（ベルクラシック帯広） ・カンファレンス ・ミートアップ

活動実績 (続き)	
参加者数	カンファレンス出席者：約 700 名 オンライン配信 (YouTube) 視聴者：約 4,000 名

【十勝アグリ&フードサミット】

地域内外の参加者の交流による事業創発を図るため、当財団の主催により、北海道宇宙サミット 2022 と同日・同会場にて、十勝の一次産業と食の未来を考えるビジネスカンファレンスを開催した。



表 49 (十勝アグリ&フードサミット開催実績)

区分	内容
主催者等	主催：公益財団法人とかち財団 共催：一般社団法人 AgVenture Lab、株式会社クナウパブリッシング、国立大学法人北海道国立大学機構帯広畜産大学、フードバレーとかち推進協議会 協力：北海道宇宙サミット実行委員会、tokachi field action Lab 後援：北海道総合通信局、北海道農政事務所、北海道経済産業局、十勝総合振興局、日本政策金融公庫、一般社団法人北海道中小企業家同友会とかち支部
活動実績	内容：①トークセッション1 「一次産業と食の未来～今、十勝にできること～」 登壇者：敷島製パン株式会社 代表取締役 盛田 淳夫 氏 株式会社山忠 HD 代表取締役 山本 英明 氏 一般社団法人 AgVentureLab 代表理事 荻野 浩輝 氏 モデレーター：当財団理事長 金山 紀久

活動実績 (続き)	②トークセッション2 「農×テクノロジー～環境負荷低減と生産性向上～」 登壇者：株式会社農業情報設計社 代表取締役 濱田 安之 氏 アクプランタ株式会社 代表取締役 金 鍾明 氏 EF Polymer 株式会社 マネージャー 石井 良明 氏 モデレーター：AgVentureLab 代表理事 荻野 浩輝 氏 ③ランチタイムピッチ 登壇者：地域内外のスタートアップ事業者 4 名 ④学生セッション 「トカチダネ～大学生が見た！今の十勝・これからの十勝～」 登壇者：「トカチダネ」参加学生 ⑤トークセッション3 「農林漁食の未来がわかる！十勝アグリ＆フード大喜利！」 登壇者：十勝地域の農林漁業者・食品事業者 10 名 ⑥その他 ・フードマーケット（プロデュース：クナウパブリッシング） ・トラクター・農機具の展示（協力：東洋農機等）  
参加者数	トークセッション 約 260 名 オンライン配信（YouTube）580 回再生（10 月 15 日時点）

【北海道経済産業局連携イベント「オープンイノベーション推進セミナーin 帯広」】

十勝地域におけるオープンイノベーションに対する機運の醸成ならびに事業創発の推進を目的として、地域内の産業支援機関、研究機関、大学、金融機関、行政機関等を対象とするセミナー及び意見交換会を実施した。

表 50（セミナー開催実績）

区分	内容
構成	主催：経済産業省北海道経済産業局 共催：公益財産法人北海道科学技術総合振興センター、 公益財団法人とかち財団
参加者	合計 31 名（うち意見交換会 21 名）
開催日	令和 4 年 10 月 17 日 15:30～18:00
場所	LAND

活動実績	内容： ①基調講演 「スタートアップのマクロトレンドと 地域企業のオープンイノベーション」 ・講師：Creww 株式会社 取締役 水野 智之 氏 田尻 瞳 氏 ②意見交換会 ・テーマ：「オープンイノベーションを 実施するために必要な環境・課題について」	
------	--	--

【北海道「地域企業デジタル技術活用支援事業」に関する事業者支援業務の受託】

道内中小企業等の DX を促進し、デジタル技術の活用や情報発信の取組支援により、地域経済の回復に繋げることを目的とした、北海道の「地域企業デジタル技術活用支援事業」の一環で、同事業の受託者である株式会社 hope for との間で十勝総合振興局管内における事業者支援業務委託契約を締結した。また、この委託に基づき、下記セミナーを実施した。

- ・委託業務の内容：地域事業者のデジタル技術活用支援相談窓口業務、各地域と連携したセミナーの開催、その他各業務内容に付帯する業務

表 51（セミナー開催実績）

区分	内容
名称	やってみたいを叶えるデジタルテクノロジー ～地域企業が自社のデジタル活用方法を学べる 2DAYS～
参加者	合計 13 名（現地参加 8 名、オンライン 5 名）
開催日	令和 4 年 11 月 5 日、6 日
場所	LAND
内容	第 1 日：デジタルトランスフォーメーションに関する講演 ・十勝バス株式会社 代表取締役 野村 文吾 氏 ・ブルーチーズドリーマー株式会社 代表取締役 伊勢 昇平 氏 ・生活協同組合コープさっぽろ CIO 長谷川 秀樹 氏 ・合同会社 Hokkaido Design Code 代表 四宮 琴絵 氏 第 2 日：ワークショップ 参加者が所属する組織の「現状分析」「作りたい未来」「GAP」「問題点」「要因」「対策案」「アクションプラン」について考えるワークショップを実施した。



【LAND 大交流会】

LAND 利用者同士の交流を促進することにより多彩な創業・起業・事業創発の機会を創出することを目的とした交流会を実施した。

事後アンケートでは参加者のうち 13 人が「自身の事業の活性化に役立つ出会いがあった」「具体的な取引に繋がる可能性が得られた」と回答するなど、一定の効果が見られた。

表 52（交流会開催実績）

区分	内容
主催	公益財団法人とかち財団
参加者	31 名
開催日	令和 4 年 12 月 8 日 18:00～20:00
場所	LAND
内容	①LAND10 大ニュース 令和 4 年の共創型事業創発支援の実績紹介や取り組みの PR、利用者の事業実績の紹介などを行った。 ②参加者コーナー 交流促進を目的に 1 分間で参加者が実施事業や取り組みについて PR できる時間を設けた。 

【起業ロード ～若き挑戦と可能性・地方での戦い方～】

次世代を担う 20 代を中心とした次世代事業創発人材の把握及び、起業意欲の喚起等を目的として、参加者と同じ年代で年商 1 億円を超える企業を創出した経営者や、LAND を通じて十勝で起業した同年代の経営者を招聘したトークイベントを実施した。

表 53（起業ロード開催実績）

区分	内容
主催	公益財団法人とかち財団
参加対象者	起業、独立を考えている域内外の 20 代、起業やビジネスに興味関心のある域内外の大学生、事業を拡大成長させたい 20 代の事業者
開催日	令和 4 年 12 月 14 日 18:00～19:30
場所	LAND

活動実績	登壇者：株式会社 BLUENESS 代表取締役 吉尾 輝大 氏 同 執行役員 野上 陸 氏 株式会社 ELF 代表取締役 大久保 航也 氏 参加者数：32 名（うち、現地参加者 13 名、オンライン 19 名）  
------	---

【爆風 ～十勝で新たな風を起こす若きイノベーターが大集合～】

次世代を担う 20 代を中心とした次世代事業創発人材の把握及び、起業意欲の喚起等を目的として、参加者と同じ年代で年商 1 億円を超える企業を創出した経営者や、LAND を通じて十勝で起業した同年代の経営者を招聘したトークイベントを実施した。

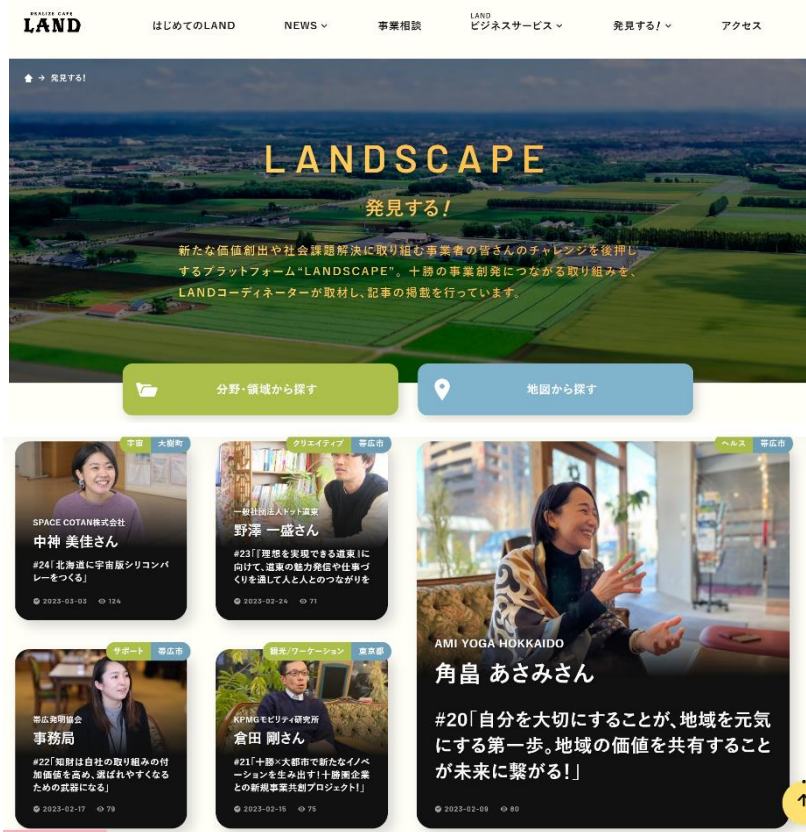
表 54（爆風開催実績）

区分	内容
構成	主催：公益財団法人とかち財団 共催：帯広市
参加対象者	地域内外の大学・短大・専門学校生および高校生
開催日	令和 5 年 2 月 11 日 15:00～18:00
場所	LAND
活動実績	登壇者：① 慶應義塾大学 4 年生 山本 愛優美 氏 ② 北海道大学大学院 修士 1 年 鈴木 湧登 氏 ③ 北海道教育大学（札幌）3 年生 布川 舞桜 氏 ④ 北海学園大学 1 年生 渡邊 輝 氏 ⑤ 小樽商科大学 1 年生 大砂 百恵 氏 北海学園大学 4 年生 錦古里 大河 氏 ⑥ 北海道大学大学院 修士 1 年生 阿部 優樹 氏 北海道大学大学院 修士 1 年生 辻口 輝 氏 参加者数：現地参加者 27 名、オンライン 19 名  

②LANDSCAPE

十勝で新しい取り組みを進めている事業者や、十勝の事業者との協業に関心が高い首都圏企業の取り組みを取材・発信するウェブメディア「LANDSCAPE」をLAND 公式ホームページ内に設置し、インターネットを活用した情報発信による事業創発促進に取り組んだ。

表 55（LANDSCAPE による事業者情報発信）

区分	内容
構成	主催：公益財団法人とかち財団 共催：フードバレーとかち推進協議会
取材件数	令和4年度取材件数 29件（3月末までの記事公開26件）
URL	https://land.or.jp/landscape.php
公開画面	 The screenshot shows the LANDSCAPE website interface. At the top, there's a navigation bar with 'LAND' logo and links like 'はじめてのLAND', 'NEWS', '事業相談', 'LAND ビジネスサービス', '発見する!', and 'アクセス'. Below the navigation bar is a large banner image of a landscape with the text 'LANDSCAPE 発見する!'. Underneath the banner, there are two buttons: '分野・領域から探す' and '地図から探す'. Below these buttons are several featured articles, each with a photo of a person and their name. The articles include: 'SPACE COTAN株式会社 中神 美佳さん', '一般社団法人ドット東京 野澤 一盛さん', 'AMM YOGA HOKKAIDO 角島 あさみさん', '都立美術館 事務局', and 'KPMGモビリティ研究所 倉田 剛さん'. Each article has a title, a brief description, and a date.

③ 事業相談対応

表 56（事業創発相談件数）

年度	相談件数	相談内訳								
		起業 創業	新規 事業	人材 育成	商品 開発	販路 拡大	資金 獲得	知的 財産	地域 連携	その 他
R4	365	96	52	9	9	22	68	0	73	36
R3	375	68	91	36	13	16	38	6	80	27
R2	247	40	－	36	13	16	38	6	36	27

表 57（市町村別相談件数）

帯広	音更	士幌	上士幌	鹿追	新得	清水	芽室	中札内	更別
162	12	1	10	4	3	3	5	4	3
大樹	広尾	幕別	池田	豊頃	本別	足寄	陸別	浦幌	十勝以外
2	7	10	7	0	2	1	1	2	126

表 58（市町村別相談事業者数）

帯広	音更	士幌	上士幌	鹿追	新得	清水	芽室	中札内	更別
109	10	1	6	3	3	2	4	4	3
大樹	広尾	幕別	池田	豊頃	本別	足寄	陸別	浦幌	十勝以外
2	6	7	6	0	2	1	1	1	86

（２）補助金・奨学金の給付

① とかちビジネスチャレンジ補助金

事業者による新たなチャレンジを支援するため、十勝地域の意欲的な事業者に対し、設立年数や取り組み内容に応じて補助金を支給した。

これにより、新たな価値創出に取り組む人材を育成するとともに、新事業や既存事業の拡大成長を図った。

表 59（令和４年度とかちビジネスチャレンジ補助金 募集・採択経過）

区分	内容
対象事業 (共通)	①新規事業構想の確立、新製品等の開発 ②事業の競争力・生産性向上 ③事業の拡大・成長（販路開拓等）

対象者 補助率 上限額	【アーリーステージ】 ・対象者；設立 5 年以内の事業者（設立予定を含む） ・補助率：10 分の 10（定額補助） ・上限額：300 万円 【グロースステージ】 ・対象者；設立 6 年以上の事業者 ・補助率：3 分の 2 ・上限額：400 万円
募集期間	令和 4 年 4 月 6 日～5 月 11 日
応募数	21 件（アーリーステージ 20 件、グロースステージ 1 件）
選考手続き等	・選考委員会による選考 - 一次選考（書類）：令和 4 年 5 月 17 日～5 月末日 - 二次選考（プレゼン）：令和 4 年 6 月 15 日・16 日実施 ・採択者説明会：令和 4 年 7 月 6 日実施

表 60（採択者 4 件：全てアーリーステージ）

事業者名	事業内容	補助額
株式会社更別ブリディクション （更別村）	AgZeni STANDARD 土壌分析統合サービスの開発	2,679,120 円
十勝空旅舎（帯広市）	熱気球のゴンドラ大型化による搭乗人数・対象 顧客拡大化計画	2,921,000 円
株式会社 Fant（上士幌町）	食肉処理施設内のプレハブ型冷蔵庫と架台の導 入	3,000,000 円
合同会社ピロロ企画（広尾町）	十勝の海・漁業のオープンプラットフォーム化 に向けた基盤環境整備	2,815,709 円



採択者のプレス発表 令和 4 年 7 月 6 日実施
（採択者説明会と同時に実施）

② LAND 奨学金（学生起業家育成奨学金）

事業創発人材の持続的な育成を図るため、十勝地域で創業・起業・事業創発に将来取り組むためのビジネススキル習得を希望する学生に対し、奨学金を給付しました。

これにより、創業等を目指す学生層の拡大を図り、起業家精神を持つ有能な人材の輩出を促進しました。

表 61（令和 4 年度 LAND 奨学金 募集・採択等の経過）

区分	内容
対象者	起業を目指し、ビジネスプランの磨き上げやビジネススキル習得を希望する学生
給付額 給付期間	年間 20 万円（5 ヶ月間、月額 4 万円）
募集期間	令和 4 年 3 月 25 日～5 月 10 日
応募数	3 件
選考手続き 及び報告会	・選考委員会による選考 - 一次選考（書類）：令和 4 年 5 月 18 日～5 月末日 - 二次選考（プレゼン）：令和 4 年 6 月 18 日実施 ・採択者説明会：令和 4 年 7 月 2 日実施 ・最終報告会：令和 4 年 11 月 26 日実施

表 62（採択者 3 名）

氏名	所属	ビジネスプラン名（採択時）
一色 健	北海道医療大学 薬学部	タクシーを用いた地域交通の充実から地域活性化へ
佐野 玉緒	帯広畜産大学 畜産科課程 環境生態学ユニット	障害を個性に、もっと身近に
渡邊 輝	北海学園大学 電子情報工学科	規格外果物で農家に恩返し



LAND 奨学金最終報告会
（令和 4 年 11 月 26 日）

③ 令和3年度「十勝人チャレンジ支援補助金」「アーリーステージ事業者支援助成金」
報告会&交流会の実施

表 63（報告会開催実績）

区分	内容
主催	公益財団法人とかち財団
開催日	令和5年3月14日 17:10～19:15
場所	LAND
参加者	28名（うち交流会参加18名）
報告者	【十勝人チャレンジ支援事業補助金採択者】 ・クラフトキッチン 齊藤 肇 氏 ・PonaWolves 株式会社 代表 加藤 拓 氏 【アーリーステージ事業者支援助成金採択者】 ・株式会社 VETELL 代表取締役 池田 哲平 氏 ・合同会社 Swing by 代表社員 山中 大輔 氏 ・フォレストデジタル株式会社 代表取締役 CEO 辻木 勇二 氏



「十勝人チャレンジ支援補助金」「アーリーステージ事業者支援助成金」報告会
（報告者5名）

(3) 施設の管理運営

事業創発支援を効果的に実施するため、事業創発支援施設（十勝事業創発支援センター「LAND」）の保守管理及び設備の利用提供等を実施した。

これにより、施設の基本機能を十分に発揮し、利用者サービスの向上を図った。

表 64（利用者数・プロジェクト登録件数）

区分	実績	内訳					プロジェクト 登録件数
		仕事	相談	打合せ	イベント	その他	
令和元年度 (8月～3月)	3,909	880	83	934	1,580	432	－
令和2年度	3,065	920	69	1,143	458	475	18
令和3年度	2,749	873	180	1,214	398	84	7
令和4年度	4,215	1,653	223	1,242	1,001	96	22
合計	13,938	4,326	555	4,533	3,437	1,087	47

※会議室等の専有使用に際し、当財団の支援対象となる事業を有しているかを事前に確認するため、使用者（プロジェクト）登録制度を導入している。

表 65（プロジェクト登録関連サービス）

実施内容
(1) 住所レンタルサービス（令和5年3月末時点の利用者数：6社） ・LANDの住所を事業拠点として名刺やホームページ等に表示することができるサービス（法人登記、開業住所、口座開設等への利用は不可）
(2) 郵便物受取サービス（令和5年3月末時点の利用者数：6社） ・LANDにて郵便物の受取を代行するサービス （郵便物の到着後、受付にて連絡・保管・引渡を行う）

表 66（ホームページ・SNSによる情報発信）

区分	内容
ホームページ	https://www.land.or.jp
facebook	https://www.facebook.com/LAND.tokachi/
Twitter	https://twitter.com/LandTokachi
Instagram	https://www.instagram.com/land.tokachi/

YouTube	<LAND チャンネル> https://www.youtube.com/channel/UCv6Z-_a1RT_dpWSt1ghqq-A
---------	--



LAND ホームページ

4 収益事業

食品技術分野の技術ニーズに対応可能な評価事業（食品関連評価事業）を実施し、地域ニーズを幅広く反映させた技術力高度化等を図った。

表 67（食品関連評価事業）

コース名	受入件数
賞味期限設定のための支援コース	3 件
味覚センサーを用いた味質評価コース	4 件

5 主要事業に関連する事項

視察・研修依頼への対応、関係機関との連携・協力を以下のとおり実施した。

（１）視察・研修依頼への対応

表 68（主な視察・研修対応内容）

期間	方法	団体名等	内容
R4. 7. 26	オンライン (WEB 会議)	J I C A 研修員	JICA 草の根技術協力事業「賞味期限の延長技術 総論」マレーシア・ケダ州（帯広商工会議所）
R4. 11. 14	研修対応	J I C A 研修員	2022 年度農業・農村 DX／スマートフードチェーン共創に向けた産学官人材育成(B)コース 「十勝地域における ISOBUS 普及の取り組み」
R4. 12. 12	視察受入	帯広農業高校 食品科学科 3 年	食品加工技術センターについて
R4. 12. 13	研修対応	J I C A 研修員	LANDを通じた事業創発支援 (2022 年度（青年）ラオス／中小企業振興（A）コース）

（２）関係機関等が主催する会議等への参画・協力等

表 69（道内の関係機関が主催する会議等への主な参画・協力実績）

主催機関・事務局等	会議等の名称	備考
フードバレーとかち推進協議会（帯広市）	フードバレーとかち推進協議会	
帯広市	フードバレーとかち人材育成事業 運営委員会	

帯広市	帯広市産業振興会議	委員
帯広市	とちか観光誘致空港利用推進協議会	副会長
帯広市	十勝バイオガス関連事業推進協議会	幹事
帯広市	とちか高等教育推進まちづくり会議	部会長
帯広市、（一社）とちか地域活性化支援機構	帯広地域雇用創出促進協議会	監事
帯広商工会議所	とちかマルシェ推進協議会	幹事
帯広商工会議所	とちか創業支援ネットワーク会議	
帯広商工会議所等	とちか商工産業振興会議（とちかづくり会議）	オブザーバー
帯広信用金庫	とちか・イノベーション・プログラム	
帯広畜産大学	スクラム十勝	
帯広畜産大学	帯広畜産大学地域連携フェロー	フェロー委嘱4名
帯広畜産大学	人体及びヒト試料研究倫理審査委員会	委員
帯広畜産大学	学生と地域がつながるまちづくり支援事業運営会議	構成員
帯広畜産大学	産学連携センター外部評価委員会	委員長
十勝農業機械化懇話会	十勝農業機械化懇話会	
経済産業省北海道経済産業局	北海道地域産業技術連携推進会議	
北海道	北海道科学技術審議会「地域懇談会」	
北海道	ものづくり技術支援ネットワーク会議	
北海道	十勝地域中小企業支援ネットワーク	
（地独）北海道立総合研究機構	北のものづくりネットワーク会議	
（公財）北海道科学技術総合振興センター	北海道技術振興連絡協議会	
（公財）北海道科学技術総合振興センター	チャレンジフィールド北海道（産学融合拠点創出事業）	
（NPO）グリーンテクノバンク	広報誌「グリーンテクノ情報」編集委員会	委員

6 管理運営事項

(1) 理事会

①第1回

開催日	令和4年6月6日(月)
開催場所	十勝産業振興センター 大会議室
出席者	10名(理事8名、監事2名)
報告事項	1. 令和4年度事業経過報告について(第1回) 2. 規則の一部改正について(理事長専決による改正報告)
決議事項	1. 令和3年度事業報告及び決算の承認について 2. 評議員会の開催について

上記事項について了承・決議された。

②第2回

開催日	令和4年7月8日(金)
開催場所	十勝産業振興センター 大会議室
出席者	11名(理事9名、監事2名)
決議事項	1. 理事長の辞任ならびに選定について 2. 副理事長の選定について

上記事項について決議された。

③第3回

開催日	令和4年11月11日(金)
開催場所	十勝産業振興センター 大会議室
出席者	8名(理事7名、監事1名)
報告事項	1. 令和4年度事業経過報告(第2回)について

上記事項について了承された。

④第4回

開催日	令和5年2月27日(月)
開催場所	十勝産業振興センター 大会議室
出席者	8名(理事7名、監事1名)
報告事項	1. 規則の一部改正について(理事長専決による改正報告)
決議事項	1. 契約職員雇用制度の見直しについて 2. 令和5年度事業計画及び収支予算について 3. 理事選考委員会の委員予定者について 4. 評議員会の開催について

上記事項について了承・決議された。

⑤第5回（定款第34条に基づくみなし決議）

決議があったものとみなされた日	令和5年3月14日（火）
決議事項	1. 株主議決権の行使について

上記事項について決議された。

（2）評議員会

①第1回（一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第194条に基づくみなし決議）

決議があったものとみなされた日	令和4年4月13日（水）
決議事項	1. 理事の選任について

上記事項について決議された。

②第2回（一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第194条に基づくみなし決議）

決議があったものとみなされた日	令和4年4月18日（月）
決議事項	1. 評議員の選任について

上記事項について決議された。

③第3回（一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第194条に基づくみなし決議）

決議があったものとみなされた日	令和4年6月20日（月）
決議事項	1. 令和3年度事業報告及び決算の承認について

上記事項について決議された。

④第4回

開催日	令和4年7月7日（木）
開催場所	十勝産業振興センター 大会議室
出席者	11名（評議員8名、理事1名、監事2名）
決議事項	1. 役員及び評議員の報酬及び費用弁償に関する規則の一部改正について 2. 常勤役員の報酬額の決定について 3. 理事の選任について

上記事項について決議された。

⑤第5回（一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第194条に基づくみなし決議）

決議があったものとみなされた日	令和5年3月10日（金）
決議事項	1. 理事選考委員会の委員予定者について

上記事項について決議された。

(3) 行政特別委員会（書面開催）

委員構成	十勝地域 19 市町村の行政機関担当者等
完結したものとみなされた日	令和 5 年 2 月 14 日（火）
報告事項	1. 令和 4 年度事業経過報告について 2. 基本財産等の状況について
協議事項	1. 令和 5 年度事業計画（案）について 2. 令和 5 年度運営負担金について

上記事項に関する報告・協議を行い、その内容について了承された。

(4) 資産運用委員会（書面開催）

委員構成	理事・評議員のうち理事長が指名する 3 名
完結したものとみなされた日	令和 4 年 12 月 21 日（水）
報告事項	1. 資産運用の状況について 2. 設置要綱の一部改正について
協議事項	1. 今後の資産運用について

上記事項に関する報告・協議を行い、その内容について了承された。

以 上